

市町村名	久米島町
------	------

令和3年度沖縄離島活性化推進事業費補助金検証シート

事業名	球美の島納骨堂兼位牌安置所複合施設整備事業	事業類型	<input type="checkbox"/> 産業振興 <input checked="" type="checkbox"/> 定住促進 <input type="checkbox"/> その他
担当部課名	環境保全課	事業実施(予定)年度	令和2～令和3年度

事業内容	共同墓としての納骨堂機能と檀家制度がなく空き家等に安置せざるを得ない位牌等を預かる機能を持った複合施設を整備する。			
先導性に係る取組	<input type="checkbox"/> 自立性 <input type="checkbox"/> 官民協働	<input checked="" type="checkbox"/> 政策間連携 <input type="checkbox"/> 事業推進主体の形成	<input type="checkbox"/> 離島活性化を担う人材の確保・育成 <input type="checkbox"/> その他	

効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和3年度)
--------	--

実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()
------	---

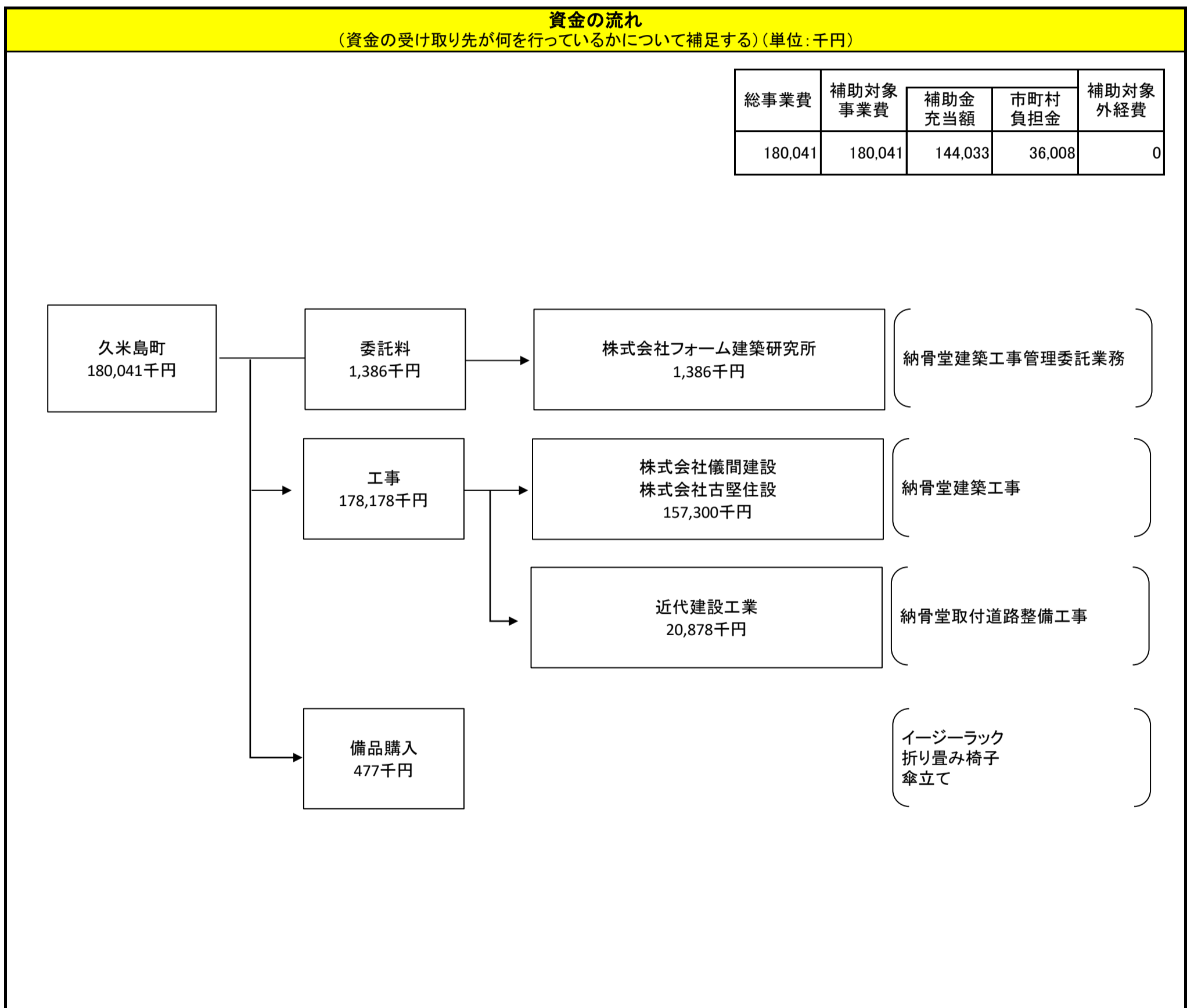
		R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	R4年度	R5年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「補助金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a) 当初予算額	183,838	0			
	(b) 予算現額	183,838	0			
	(c) 増減額(b-a)	0	0			
	(d) 繰越額	0	179,564			
	A. 計(b+d)	183,838	179,564			
	B. 執行済額	477	179,564			
うち補助金充当額	0	144,033				
次年度繰越額	179,564	0				
執行率(%) (B/A)	0.3%	100.0%				
予算の状況の説明	建築工事及び外構工事を期限内に完了し、繰越予算の執行率は100%となり計画的に執行できた。 不用額3,797千円については、委託・工事・物品調達の入札減によるものである。					

活動目標(指標)及び達成状況	活動目標(指標)	達成状況			
		R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	R4年度
建築工事	目標	(工事完了)	(-)	(-)	(-)
	実績	-	工事完了	-	-
外構工事	目標	(工事完了)	(-)	(-)	(-)
	実績	-	工事完了	-	-
備品購入	目標	(備品購入完了)	(-)	(-)	(-)
	実績	備品購入完了	-	-	-
達成状況説明	・納骨堂の建築工事、外構工事について、基礎工事・コンクリート打設による騒音や振動で、隣接する久米島斎場を利用する親族等と調整する必要が生じたため、翌年度に繰越を行い、それぞれR3年5月に完了した。 ・備品購入は当初計画のとおり、ラック、折り畳み椅子、傘立てを調達した。				

成果目標(指標)及び進捗状況	成果目標(指標)	基準値(年度)	R3年度			目標値(R3年度)
			()	()	()	()
○墓地の散在抑制 納骨堂利用世帯数	目標		(16世帯以上)	()	()	(16世帯以上)
	実績	-	47世帯	-	-	-
○空き家の有効活用 空き家のマッチング戸数	目標		(4戸以上)	()	()	(4戸以上)
	実績	-	0	-	-	-

進捗状況説明	・納骨堂利用世帯数は47となり目標を達成した。 ・空き家のマッチング戸数は、目標を下回る結果となった。				
--------	--	--	--	--	--

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌で利用案内したが、周知不足により周辺住民から納骨堂の情報を得たと声があった。 ・(空き家のマッチング戸数に影響を与えている課題を記載) ・令和3年度中に位牌壇の利用が8件あった。約半数が空き家の問題を抱えていたが、不動産の相続がされておらず、空き家事業を活用できずにマッチングには至らなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌以外での媒体でも納骨堂の情報を周知する必要がある。 ・(空き家マッチングの課題への対策の方向性を記載) ・施設利用希望の方には納骨堂の説明だけではなく、空き家事業の説明も行う必要がある。
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> ・パンフレットの改良やHP及びラジオ等での広報を行い、周知を図る。 ・(空き家マッチングの今後の具体的な方向性を記載) ・空き家問題解消を推進している課と密に連携を取り、空き家相談会などで納骨堂の広報を行う。 		



資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託、工事、物品調達事業者は一般競争入札で選定しており、妥当であったと考えている
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	積算については、3者見積により予算編成を行った。また、不用額は事業費の3%以内であり適正な規模であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	—
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	費用、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。